

授業科目	失語症Ⅰ（基礎）				
担当者	大西 環				
専攻(科)	言語聴覚専攻科	学 年	1 年	総単位数	1 単位
		開講時期	前期	選択・必修	必修

## ■ 内 容

失語症とはどのような言語障害であるか、その基礎的な内容を中心に講義を行う。

## ■ 到達目標

失語症の言語症状やタイプ分類について理解し、臨床の観察点とすることができる。

## ■ 授業計画

- 第1回 失語症とは 定義と障害の特徴、臨床の流れ
- 第2回 言語モデルについて
- 第3回 失語症の言語症状 流暢性と非流暢性
- 第4回 失語症の言語症状 発話の障害について①
- 第5回 失語症の言語症状 発話の障害について②
- 第6回 失語症の言語症状 聴覚的理解障害について
- 第7回 失語症の言語症状 読み書きの障害について
- 第8回 失語症のタイプ分類①
- 第9回 失語症のタイプ分類②
- 第10回 失語症のタイプ分類③
- 第11回 純粹失読、純粹失書、失読失書
- 第12回 症状の観察の仕方①
- 第13回 症状の観察の仕方①
- 第14回 症状の観察の仕方①
- 第15回 まとめと復習

## ■ 評価方法

筆記試験100%

## ■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

毎回の復習を必ず行うこと。  
疑問点は随時解決できるよう、できるだけ次の講義時間に質問すること。

## ■ 教科書

書 名：脳卒中後のコミュニケーション障害  
著者名：竹内愛子 川内十郎 編著  
出版社：協同医書出版社

## ■ 参考図書

## ■ 留意事項

新型コロナウイルス感染症対策や不測の事態（災害等）が発生した際、遠隔授業による授業運営に変更する可能性がある。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況や入構禁止等の措置を講じた場合は、評価方法を変更することがあり、評価方法を変更する場合には、講義支援システム（Moodle）を通じて周知する。

## ■ 講義受講にあたって

失語症理解の基礎となる科目です。失語症Ⅱ（評価）、失語症Ⅲ（訓練）、失語症Ⅳ（臨床講義）につながるようしっかり取り組んでください。